

Annual Reports of Studies 2004

学術研究年報

No.55

同志社女子大学

Doshisha Women's College of Liberal Arts
KYOTO JAPAN

裏表紙デザインについて

ヨハネス・グーテンベルクがドイツのマインツで独自に開発した活版技術によって聖書の印刷に成功したのは15世紀のことでした。以来、宗教改革、科学革命、産業革命など、知にかかわる歴史は、書物の大量生産を可能にしたこの技術の影響を無視して語ることはできません。

裏表紙の文字は、ポーランド・ベルプリン神学校図書館所蔵本（本学は複製版を所有）より、「初めに言があった (in principio erat verbu[m])」（新訳聖書・ヨハネによる福音書1章1節）の一部からデザインされたものです。世界と論理とのかかわりについて、正鵠を射た一句です。

第二の「グーテンベルク革命」がささやかれる今日、判型を改訂し新装なった本誌が、この精神を忘却することなく、これまで以上に有用な学術研究誌として、広く時代に迎えられることを願ってやみません。

（『同志社女子大学術研究年報』判型改訂によせて・2004.12.10記）

（情報メディア学科教授 中村 信博）